



飼育中の子アマゴ 大きいのは4cmほどになって 川に放す日も近いかな

<https://www.kawaranbe.net/>

2024年2月20日発行

開催しました!

## かわらんべ講座

1月15日~2月14日  
のようす

### ひな人形づくり

2/10  
27名

もうすぐひな祭り。竹と紙や布でひな人形を作りました。手づくりひな人形でひな祭りを楽しんでね!



### 春さがし

2/3  
30名

真冬に春の準備をする身近な生きものたちを観察し、冬を乗り越える工夫や姿をフィールドビンゴで楽しみながら学びました



### ガーゼのしぼり染め

1/27  
41名

桑の葉の果汁や身近な野菜の煮汁でガーゼを染めました



### まごたろう虫をふやそう②

1/20  
20名

詳細は2面で紹介



1/18  
9名

### ウォーキング

雨でもひるます歩きます



### 冬の星

2/9  
15名

冬の星座・星団や明るい一等星を観察



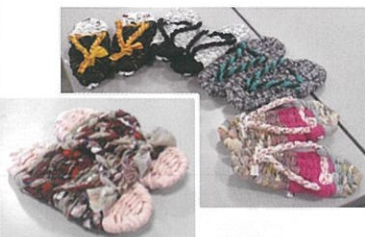
2/7  
12名

### エコ布ぞうり作り



2/1  
17名

### 絵手紙



### ●天龍小学校

1・2学年 6名  
1月30日(火)

### リクエスト講座

1月15日~2月14日  
のようす

石ころアートを体験  
いただきました





**自然体験に適した環境を維持しよう**

正面の「水辺の楽校」は、飯田市をはじめとする多くの小中学校や各種団体が自然体験に利用する学習フィールドです。開園から20年を機に、体験学習環境としての機能を永く維持できるよう環境管理に取り組んでいます。

※この活動は飯田市の「令和5年度 ムトス飯田助成事業」の支援を受け実施しました



**なぜ木を切るの？ 切りすぎなんじゃない？ という声にお答えします**

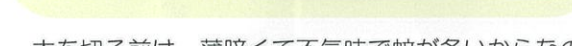
**こまった クルミの木が多すぎ・大きくなりすぎ**

あとから生えてきたクルミの木の生長が良すぎて、山桜やエノキ・クヌギなどの当初から植えて育てている木を圧倒するほど。実生の木の本数も増え続けています。



**その結果**

深い森のようになって体験フィールドは薄暗くなりました。天竜川には似合わない環境・景観となっていました。



木を切る前は、薄暗くて不気味で蚊が多いからなのか、夏は涼しいはずのこの場所に人は寄り付かず、施設正面の広いスペースなのに残念な状況でした。

そんな樹木も択伐作業したあとは全体的に明るい環境になり、景観的な変化は大きなものでした。

しかし、木を切ってしまうと終わりはありません。木が消えれば草の勢いが増してきますので、次は草との闘いです（特に外来植物ほど顕著）。

でも大変だからと言って管理の手を止めてしまえば、また深い森に逆戻り。最適な自然体験環境はメンテナンスをしなければ成り立ちません。管理作業へのみなさんのご協力をお待ちしております。

**今年も みんなと『いっしょに 川づくり』**

かわらんべ講座で活動中の「いっしょに川づくり」。

1/20の講座で川の底に石を運び入れる作業の予定でしたが、雨のため変更。来年度の活動のシンボルにするイラストを作ってもらいました。今年度の活動とその結果を復習した後、短時間で描いてもらったのですが、期待どおりの良い作品ができました。

4月からの活動への参加募集や結果の紹介に使わせてもらいます。



なぜ木を切るの？ 切りすぎなんじゃない？ という声にお答えします

**木をへらそう！ クルミの木だけ切りました**

必要なクルミを選んで残り、あとは切り倒しました。作業1年目の昨年1月は南側だけ切っ様子を見ました。



**その結果 明るい林になりました**

木々は密集から解放されて、一本一本の姿が明確になり、遠くからでも樹種がわかるようになりました。そして、木々のすき間から天竜川の姿も見通せるようになりました。明るくなった小川の生き物にも変化があり、日光の当たる場所にだけ魚のアユがすみつきました。

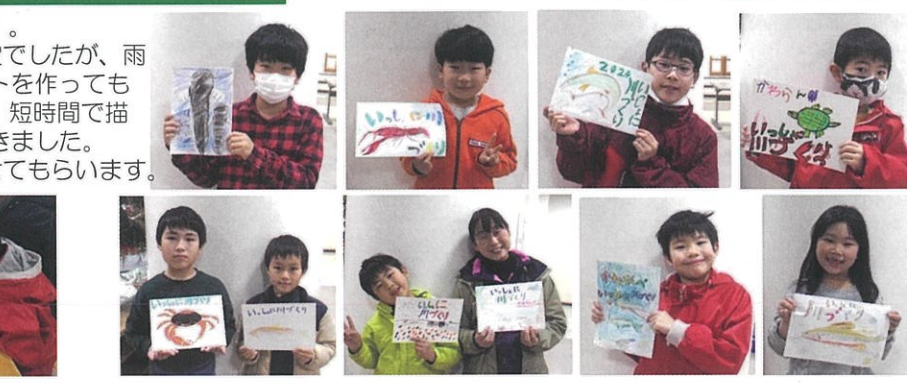


**めざすはコレ！ 天竜川の河川敷に似合うのは 明るい景観**

以前はこんな景観だったの覚えていますか？ 小川の水辺はこんな感じに明るい方がいいですね。植物の遷移は、進み過ぎず、戻り過ぎずが ちょうどいいのかもしれないね。



**『川づくり』活動のシンボルにするイラストを作りました**



以前の講座ではバスに乗って天竜川流域の名所・旧跡に河川・砂防施設や工事現場など様々な場所を見学していただきました(コロナ以降中断)。その時訪れた天竜川の名所の様子を講座紀行として紹介して今回で3回目。今回は文化財の坂戸橋。歴史ある美しいアーチ橋です。2014年11月15日に開催した「伊那谷遺産巡り」講座の当時の資料と記事を掘り起こして紹介します。



くわしくは「伊那谷遺産」をご覧ください  
「人と暮らしの伊那谷遺産プロジェクト」  
<https://www.cbr.milt.go.jp/tenjo/think/heritage/index.html>



人と暮らしの伊那谷遺産には天竜川周辺の隠れた名所や知られざる見どころが数多く選定されています。10年前、そんな伊那谷遺産を巡る講座で訪れたのが坂戸橋。里の秋の紅葉で彩られた美しいアーチ橋をバックに記念撮影したことを思い出します。上下流の峡谷美もさることながら、春の桜並木は例えようのない景観でした。今は桜並木はありませんが、周囲に植えられた桜が育ち、令和の桜の名所となりました。

「伊那谷遺産」の資料によると、1933年(昭和8)に完成した鉄筋コンクリートの優美なアーチ橋で、建設当時は鉄筋コンクリートアーチ橋としては我が国最大のスパンを誇ったそうです。材質はコンクリートでありながら木彫の面取りをとり入れ、自然景観に馴染むよう配慮されています。2010年(平成22)に国の「登録有形文化財」に登録され、「信濃の橋百選」にも選定されました。



昔も今も橋の周囲は桜の名所 橋を引き立てます

坂戸峡の水面に映したアーチの姿

**「川らんべ」通信**

**近ごろの天竜川 ぶえた？ へった？ 生物たち ①**

天竜川とその周辺河川にかかわりの深い 自然・文化・防災などについて解説します

**連載⑪ 水質浄化で減ったかも ミズムシ と シマイシビル**

「きたない水」の指標種 まだいます。でも、かなり少なくなりました。

最近の天竜川周辺の生き物で、増えたり減ったりの変化が特徴的な種類について、その生息のようすを紹介するこのコーナー。今回は…

【文献】  
・『天竜川上流の主要な底生動物 2021』（天竜川上流河川事務所、2021年）  
・『天竜川のKP排水流入域における汚濁度の生物学的指標法の検討』（町田ら、1964）

川での嫌われ者の代表格 以前はスゴイ数でした

今回紹介する2種類は、色も姿も名前も お世辞にも美しいとは言えない、おまけに「きたない水」を示す水質指標生物ですので、紙面的なイメージが心配ですが、あえて大事なことを教えてくれる種類として取り上げました。

今から60年前の昭和の時代の天竜川を調査した文献には、夏の天竜川の瀬で調査すると、地点によってはザザムシで有名なあのヒゲナガカワトビケラに次いで個体数や重量が多かったことが記録されています(町田ら、1964)。平成のはじめころまで河川の瀬でも多く見かけ、とくに上流側の上伊那地域ではとても数が多く、天竜川でのおなじみの種類の一つでした。

ハッキリとした変化は平成の中頃から かなり少なくなりました

最近の天竜川の水質浄化によって「きれいな水」を好むカワゲラが増えてきたことを紹介しましたが(183号)、「きたない水」を好むミズムシやシマイシビルが減少している様子もあわせてみると、水質浄化の進み具合がより明確になります。

そのハッキリとした変化が現れたのが平成の中頃。瀬での数は減って、下流側の地域ではさがしてもほとんど見つからないほど少なくなっている場所もありました。(くわしくは『天竜川上流の主要な底生動物2021』をみてください)

「キモい」とか言わないで じつは大事な生きものなのです

多くの人に嫌がられるこの2種ですが、他の生き物が すめないような過酷な汚濁の環境で暮らし【川のごれのもとを有機物を食べて減らしてくれる】大事な生きものです。水質が良くなれば自然に数が減りますし、シマイシビルは吸い付いても血は吸い取らないので、すんでいる環境や見た目の姿・動きだけで嫌がらず、彼らを あたたく見守りましょう。





# 3月 かわらんべ講座

受付中

※3月の休館日は、4日(月)・11日(月)・18日(月)・21日(木)・25日(月)

- 基本的にマスクの着用は個人の判断でお願いします
- 念のため、どの講座もマスクは持参ください 地域の感染状況や講座の内容(乗り合わせ移動)などによっては着用をお願いする場合があります
- 天候・水量や感染予防の観点から【中止】や【変更】となる場合もあります 情報はホームページで公表します



● **きれいな石さがし** 3/2 土  
子どもと保護者 会場：水辺の楽校（屋外） 午前9:30～11:30

● **きのこと栽培** 3/9 土  
子どもと保護者 会場：かわらんべと周辺 午前9:30～11:30

● **グラウンドゴルフ** 3/16 土 **定員20組**  
子どもと保護者 会場：水辺の楽校（屋外） 午前9:30～11:30

● **草もち作り** 3/23 土  
子どもと保護者 会場：水辺の楽校（屋外） 午前9:30～12:00

● **絵手紙** **定員16名** 3/7 木  
成人講座 午前9:30～11:30

● **ウォーキング** 3/14 木  
成人講座 午後13:30～15:30

講座の開始・終了時間にご注意ください  
3月までの講座時間は **9:30開始・11:30終了** です  
4月からの講座時間は **9:00開始・11:00終了** です

令和6年度

# 4月 かわらんべ講座

※4月の休館日は、1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・30日(火)

受付 3/2 から 受付期間 3月2日(土)から講座日前日まで  
※受付期間内でも定員に達した場合は早期に受付終了となります

● **ジャガイモ植え** ~畑は小さな大自然~ 4/6 土  
子どもと保護者 会場：かわらんべ正面（屋外） 午前9:00～11:00

ジャガイモさいばいの最初の作業は「種イモ」を植えること。春の優しい土に触れ身近な野菜と友達になろう！

- 【持ち物】
- ・軍手・長ぐつ
  - ・農作業の服装
  - ・飲み物



● **春の鳥をみつけよう** 4/13 土  
子どもと保護者 会場：かわらんべ正面（屋外） 午前9:00～11:00

天竜川の堤防を歩きながらバードウォッチング。ヒバリやウグイスなど春の鳥を観察します。

- 【持ち物】
- ・双眼鏡(ある人)
  - ・筆記用具
  - ・飲み物



● **食べられる野草** 4/20 土  
子どもと保護者 会場：かわらんべ正面（屋外） 午前9:00～11:00

昔は野草も食材で、日常的に自然の恵みを利用していました。見分けや料理方などの利用の知恵を学びます。

- 【持ち物】
- ・収穫用袋
  - ・飲み物



● **まごたろう虫をふやそう①** 4/27 土  
子どもと保護者 会場：かわらんべ正面（屋外） 午前9:00～11:00

ヘビトンボ【まごたろう虫】のすむ小川づくりを進めています。川虫たち増えたかな？ 活動の成果を確認します。

- 【持ち物】
- ・川の活動の服装
  - ・魚とりアミ



## ■成人講座

● **絵手紙** **定員16名** 4/4 木  
成人講座 午前9:00～11:00  
季節の画題を自分らしく描きます

- 持ち物  
教材費300円  
筆記用具

● **ウォーキング** 4/18 木  
成人講座 午後13:30～15:30  
堤防の八重桜を眺めながら歩きます(4kmコース)

- 持ち物  
長距離歩く装備

● **春の鉱山巡り** 4/28 日  
成人講座 終日9:00～15:00

大鹿村の鹿塩川上流で黄鉄鉱をさがします

- 持ち物  
山を歩ける服装  
・雨具  
・風食・飲み物  
・乗り合わせ500円

## ☆ 新年度4月の講座を申し込む時のお願い事項 ☆

- 進学されるお子さんは4月からの学校名を教えてください  
(これまで園児で登録いただいていたお子さんと、4月から小学校に上がる場合がこの対象になります：中学校・高校へ進学の場合も一緒です)
  - 転居等で住所が変更になる場合は新しい住所を教えてください
  - 新年度のスケジュールをよく確認してからお申し込みください
- ※かわらんべ講座参加者の登録情報は傷害保険加入に使用します

屋外の講座は雨の場合でも内容を変更して室内で開催します  
ホームページで確認してね